

古代アメリカ学会第15回総会研究大会

日時：2010年12月4日（土） 9：15～17：00

場所：早稲田大学戸山キャンパス 36号館 682教室

8：30 ー受付開始ー

9：15ー9：20 ー開会の言葉ー

9：20ー9：40 「アステカ王国拡大期の出神殿出土遺物」 井関睦美（慶應義塾大学）

9：40ー10：00 「エルサルバドル共和国における先スペイン期遺跡出土人骨の調査」
市川彰（名古屋大学大学院）

10：00ー10：20 「エル・サルバドルにおける土壌からみた農耕の実態について」
伊藤伸幸（名古屋大学）

小休憩（10分）

10：30ー10：50 「コンチュコス地域での人類学調査」 大谷博則（奈良大学大学院）

10：50ー11：10 「ペルー中央高地、ワンカ・ハサ遺跡、D字形建築の祭祀性」
土井正樹（国立民族学博物館外来研究員）

11：10ー11：30 「パコパンパ遺跡から出土した人骨の生物考古学的研究」
長岡朋人（聖マリアンナ医科大学）

11：30ー11：50 「ペルー北高地パコパンパ遺跡における宗教的権威の交代」
關 雄二（国立民族学博物館）、ディアナ・アレマン（ペルー国立サン・マルコス大学）、
鵜澤和宏（東亜大学）、長岡朋人（聖マリアンナ医科大学）、荒田 恵（総合研究大学院大学）、
坂井正人（山形大学）、ダニエル・モラーレス（ペルー国立サン・マルコス大学）、
フアン・パブロ・ビジャヌエバ（ペルー国立サン・マルコス大学）、マウロ・オールドーニェス（ペルー国立サン・マルコス大学）

昼休憩（70分）

13：00ー13：30 「形成期アンデスにおけるシカ狩猟」 鵜澤和宏（東亜大学）

13：30ー14：00 「テオティワカンにおける住居建築の特徴と変化」
福原弘識（国立民族学博物館外来研究員）

14：00ー14：30 「メシーカ人による伝統の摂取と変容」 井上幸孝（専修大学）

小休憩（20分）

14：50ー15：20 「コパン遺跡北部住居群、9L-22 グループにおける建築拡大過程の復元」
今泉和也（北海道大学大学院）

15：20ー15：50 「王朝崩壊後のコパン」
中村誠一（サイバー大学世界遺産学部、早稲田大学比較考古学研究所）

15：50ー16：20 「マヤ文明の環境利用：セイバル遺跡の石器を中心に」
青山和夫（茨城大学）

16：20ー16：50 「グアテマラ、セイバル遺跡より見たマヤ文明の起源」
猪俣 健（アリゾナ大学）

17:00ー ー総会ー